

<b>科目名</b>	ピアノ演奏法Ⅱ						
<b>Course Name</b>	Piano performance method Ⅱ						
<b>年次</b>	1年	<b>期別</b>	後期	<b>単位数</b>	1	<b>授業形態</b>	演習
<b>担当者氏名</b>	岡泉志のぶ 中沢充恵 廣澤真緒実 山田飛鳥 川田将人						
<b>連絡先(質問等)</b>	講義棟3F 岡泉研究室、または講義棟1F 講師室、メールにて対応する。						
<b>必修/選択</b>	選択(保育士養成課程選択必修科目)						
<b>関連 DP</b>	DP2,DP4,DP5						
<b>授業の概要と到達目標</b>	<p>保育の現場で活躍するためには、保育者としての基本的なピアノ演奏技術がなくてはならない。この授業では、ピアノ演奏法Ⅰで習得した個々のピアノ技術の向上を目指し、特に保育の現場で多く歌われる日常のうたや季節のうた、行事のうたの伴奏法を学び、保育現場に活かせる伴奏の習得を図る。バイエル教則本を終了している学生は、ブルグミュラー25の練習曲以上の曲も併用してピアノ演奏技術の向上を目指す。</p> <p>この授業の到達目標は、以下の4つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ピアノの効果的な練習法を身に付け、バイエル教則本を終了することができるようにする。</li> <li>② 幼児曲を正確に伴奏することや歌唱することで音楽を表現することの楽しさを味わうことができるようにする。</li> <li>③ 実習先からの課題曲、または日常のうたや季節のうたを演奏することができるようにする。</li> <li>④ 保育現場での音楽技術の必要性を踏まえ、弾き歌いに必要な演奏技術と表現力を養うことができるようにする。</li> </ol>						
<b>授業の方法</b>	<p>演習(実技)形式で行う。ピアノ技術の習熟度別のクラス編成をし、対話型を含めた個人レッスンで行う。グループディスカッションも取り入れ、他者の演奏を聴くことでも習得を図る。個人レッスンは各学生の能力に応じた教材や進度を的確に判断し指導を行う。また、教則本と並行して幼児曲に取り組み、保育の現場で活用できる曲を、個々のレパートリーとして弾けるように指導する。</p> <p>以下には、標準的(ピアノ未経験者、初心者に適した)授業計画を示す。</p>						
<b>学習成果</b>	L01	ピアノ練習の習慣化が身につくことで、ピアノを弾くことの楽しさや達成感を得ることができる。様々な幼児曲を伴奏する上で、子どもと一緒に楽しみながら音楽活動ができる。					
	L02	ピアノの基本である読譜力をつけることができる。基本的な伴奏法を用いた簡単な幼児曲の伴奏や他の楽曲を演奏することができる。バイエル教則本終了程度の曲を終了することで、簡単な童謡や簡単伴奏法を用いた幼児曲も演奏できる。					
	L03						
	L04						
<b>課題に対するフィードバック</b>	個々の学生のレベルに応じて課した技術的課題について、毎回授業内でフィードバックする。発表については、終了時と最終授業日に講評する。						
<b>教科書/参考図書</b>	教科書:改訂 幼児のための音楽教育(教育芸術社)、バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)、ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社)、ソナチネアルバム(全音楽譜出版社)、他						
<b>履修上の留意点やルール等</b>	●短い時間でも毎日ピアノに触れ練習すること。●使用教室(MRⅠ、MRⅡ、レッスン室)では、飲食持ち込み禁止とする。●事前、事後学習に費やす時間の目安は45分とする。						
<b>担当教員の実務経験</b>	●主担当:岡泉(職種:ピアノ講師 職歴:通算20年) 担当者(非常勤講師):ピアノ講師歴あり 学生個々の能力別による個人レッスンに、ピアノ指導の経験を活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
<b>授業参加態度</b>	毎回与えられた課題を日々練習して授業に臨んでいる。	30			
<b>レポート/作品</b>					
<b>発表</b>	全担当教員の前で、課題曲1曲を演奏し、読譜力、曲の難易度と表現力で採点する。担当教員5名が採点した点数の平均点を評価とす		50		

	る。				
小テスト					
試験					
その他	チェックシートの進捗により評価をする。(幼児曲10曲以上)		20		
<b>合計</b>		30	70		

回数		授業計画
1	授業内容	授業内容、評価方法の説明、受講する際の注意 担当者別: 次回の課題、幼児曲指導(実習課題曲対策) 日常のうた:あさのうた
	事前・事後学習	日常のうた:おべんとう、おかえりのうたのリズムに注意して練習する。
2	授業内容	教則本の習得(バイエル 80 番、81 番程度)① 幼児曲ピアノ指導:(曲例) 日常のうた:あさのうた さよならのうた
	事前・事後学習	バイエル 80 番、81 番、指番号や手が交差する箇所の音の位置に注意して練習する。
3	授業内容	教則本の習得(バイエル 81 番、82 番程度)② 幼児曲ピアノ指導:(曲例) 日常のうた:おべんとう おかえりのうた
	事前・事後学習	バイエル 82 番、調子記号や調性を考え指番号に注意して練習する。
4	授業内容	教則本の習得(バイエル 81 番、82 番、88 番程度)③ 幼児曲ピアノ指導:(実習対策)課題曲と保育現場での実践に向けて
	事前・事後学習	バイエル 88 番、付点のリズムに注意して練習する。
5	授業内容	幼児曲ピアノ指導:(実習対策)グループ発表と保育現場での実践に向けて
	事前・事後学習	幼児曲の伴奏では弾き歌いや前奏後の歌い出しの合図の出し方も練習する。
6	授業内容	幼児曲ピアノ・歌唱指導:各自実習先での音楽的表現活動の報告と今後の課題見直し
	事前・事後学習	幼児曲の弾き歌いは鍵盤を見て弾くのではなく子供達へ視線が向くように練習する。
7	授業内容	教則本の習得(バイエル 89 番、90 番程度)長調と短調 幼児曲ピアノ指導(チェックシート使用)
	事前・事後学習	バイエル 90 番を長調と短調の違いを感じ、臨時記号を見落とさないように練習する。
8	授業内容	教則本の習得(バイエル 91 番、92 番、96 番、98 番程度)リズムと拍子 幼児曲ピアノ指導(チェックシート使用)
	事前・事後学習	バイエル 96 番を8分の6拍子の拍子や左手の伴奏法に注意して練習する。
9	授業内容	教則本の習得(バイエル 100 番、102 番程度)付点のリズム 幼児曲ピアノ指導(チェックシート使用)
	事前・事後学習	バイエル 100、102 番、装飾音の弾き方や付点のリズムに注意して練習する。
10	授業内容	教則本の習得(バイエル 104 番程度)音楽性 幼児曲ピアノ指導(チェックシート使用)
	事前・事後学習	バイエル 104 番、曲の個性を捉え音楽表現にも視点を向けて練習する。
11	授業内容	実技発表の課題曲の指導(バイエル終了程度)① 楽譜の確認
	事前・事後学習	課題曲を正確に読譜し練習する。
12	授業内容	実技発表の課題曲の指導(バイエル終了程度)② 音楽性と表現力
	事前・事後学習	課題曲の個性を捉え、強弱を付ける等して音楽的に曲が完成するよう練習する。
13	授業内容	実技発表の課題曲の指導(バイエル終了程度)③ 楽曲の完成
	事前・事後学習	課題曲を暗譜し人前でも普段通りの音楽表現ができるようにリハーサルをする。
14	授業内容	実技発表(各自発表) 発表後の講評と今後の幼児曲課題提示
	事前・事後学習	個々に提示された幼児曲を練習し、保育現場に活かせる曲のレパートリーを増やす。
15	授業内容	保育現場での実践に向けて (曲例) 季節のうた:とけいのうた あめふりくまのこ
	事前・事後学習	実習に向けて幼児曲の完成度を高めるよう練習する。